

高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第29週[7月18日～7月24日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/
E-mail: kansen@ken4.pref.kochi.jp

全国の手足口病情報 (第28週 速報)

全国の手足口病の小児科定点医療機関当たりの患者報告数は、第28週(7月11～17日)は10.97で、前週の9.72をさらに上回った。都道府県別に見ると、愛媛(24.9)では全国第5位の報告数で、本県に隣接する宇和島保健所では愛媛県内でも最も多い報告数(38.0)となっており、今後も注意が必要である。

県内情報

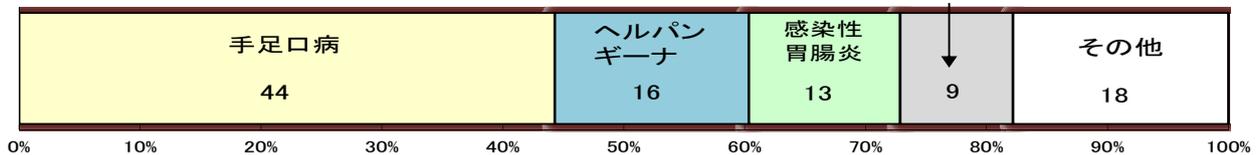
○ 患者情報総評

警報発令疾患：手足口病

- 週のはじめは台風の接近に伴い荒れた天気となった。
- 手足口病(幡多：警報→警報，高幡：警報→警報，高知市：警報→注意報，中央西：警報→注意報，安芸：注意報，中央東：注意報→注意報)は中央医療圏で減少し、総数はやや減少した。
- ヘルパンギーナ(幡多：警報→警報，中央西：警報→注意報，安芸：警報→注意報)は高幡で増加したがその他の地域で減少し、総数は前週の約6割に減少した。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は中央東で前週の1/4に激減したため、総数も1/2以下に減少し注意報値を下回った。高いレベルで推移していたが、ようやく例年並みの報告数に減少した。
- 咽頭結膜熱(高幡：注意報→警報)は総数は横ばいであったが、高幡では増加し警報値を超した。

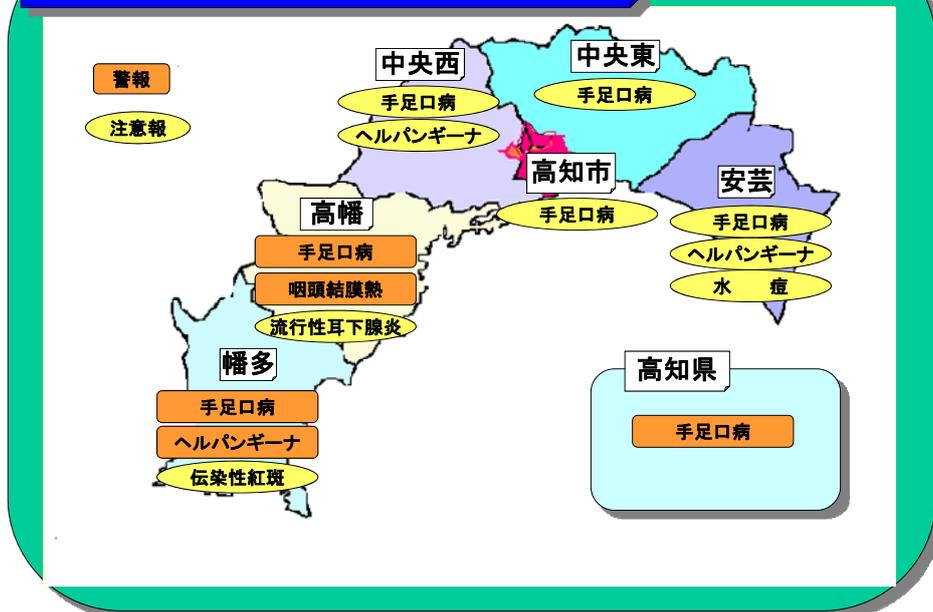
上位疾患構成図

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



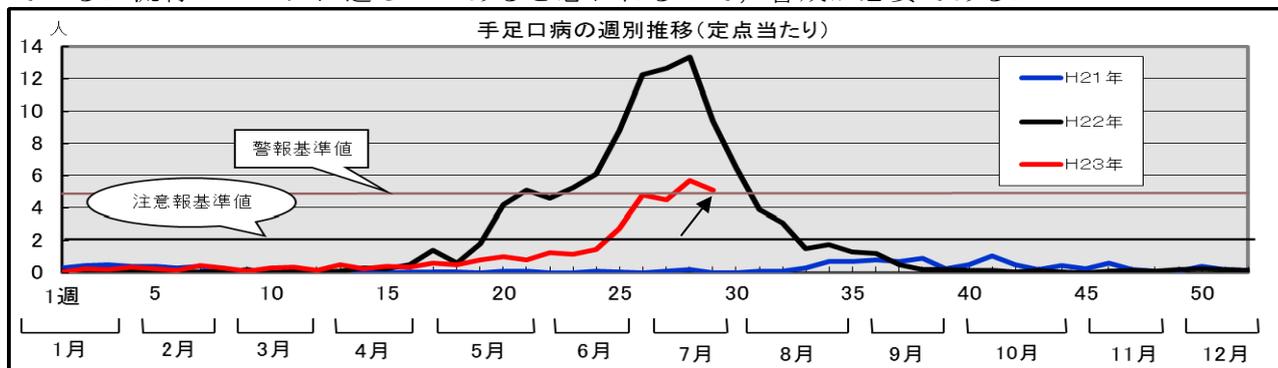
地域別感染症注意報・警報発生状況

第29報 (2011年7月18日～2011年7月24日)



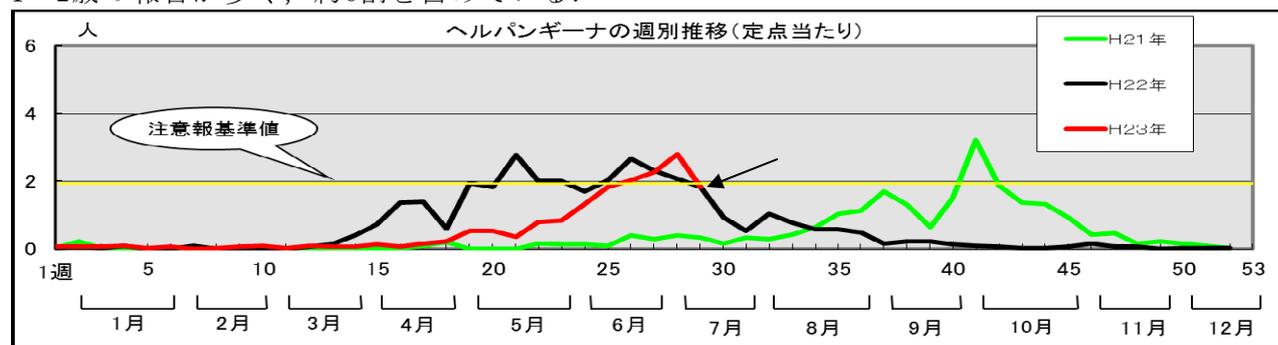
手足口病：今週 5.07 (注意報値：2.00 警報値：5.00)

第24週以降急増を続けていたが前々週に減少し、前週増加したが今週再び減少した。総数では減少しているが、地域毎にみると幡多、高幡、安芸では増加し、特に幡多と高幡では警報値を大きく上回っている。年齢別にみると1歳からの報告が最も多く、1～4歳では全体の7割以上を占めている。流行のピークに達しつつあると思われるので、警戒が必要である。



ヘルパンギーナ：今週 1.83 (注意報値：2.00 警報値：4.00)

第21週以降増加傾向が続いていたが、今週は減少に転じ注意報値を下回った。地域毎にみると幡多では引き続き警報値を超しているが、中央西と安芸では警報値を下回った。年齢別にみると1～2歳の報告が多く、約6割を占めている。



検査情報

受付週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
27	急性上気道炎	1歳 男	高知市	Adenovirus 1
25	意識障害・けいれん	6か月 女	高知市	Poliovirus 2
26	感染性胃腸炎	2歳 女	中央東	Sapovirus genogroup unknown
29	マイコプラズマ肺炎	8歳 男	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 6例 (70代男) 《高知市》 (70代男, 70代女) 《幡多》 (40代男) 《中央東》 (80代男, 70代女) 《中央西》 (今年94例)
 5類感染症：急性脳炎 1例 (0～4歳男) 《高知市》 (今年2例)

○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《さたけ小児科》：マイコプラズマ肺炎 1例 (8歳女)

高幡：

《もりはた小児科》：カンピロバクター腸炎 1例 (1歳男:28週)

中央西：

《石黒小児科》：口唇ヘルペス 2例 (12歳男, 38歳女)

《くぼたこどもクリニック》：ヘルパンギーナの1例は須崎市 感染性胃腸炎の1例は須崎市

高知市：

《けら小児科・アレルギー科》：アデノウイルス陽性 3例 (0, 1, 3歳男)

カンピロバクター腸炎 1例 (25歳男)

《町田病院》：流行性角結膜炎の1例はアデノウイルス陽性

中央東：

《あけぼの小児クリニック》：マイコプラズマ肺炎 1例（8歳男）

《野市中央病院小児科》：帯状疱疹 1例（12歳女）

《早明浦病院小児科》：感染性胃腸炎の1例（2歳男）は病原性大腸菌*E. coli* O-121

全国情報第27週（7/4～7/10）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核381例

3類感染症：細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症102例（有症者62例、うちHUS 1例）、腸チフス1例

4類感染症：A型肝炎1例、オウム病1例、つつが虫病1例、デング熱3例、日本紅斑熱2例、ブルセラ症1例、ライム病1例、レジオネラ症16例

5類感染症：アメーバ赤痢13例、ウイルス性肝炎（B型）4例、急性脳炎3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群21例（AIDS 4例、無症候13例、その他4例）、梅毒11例、破傷風3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん7例、麻しん13例

報告遅れ：E型肝炎1例、日本紅斑熱4例、マラリア2例、急性脳炎7例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

◆手足口病

手足口病（hand, foot, and mouth disease：HFMD）は、口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス性感染症であり、乳幼児を中心に主に夏季に流行する疾患である。高熱が続くことはあまりなく、基本的には数日間の内に治癒する予後良好の疾患であるとされている。しかし稀ではあるが、髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を呈することが以前より知られている。

病原ウイルスは主にコクサッキーA16（CA16）、エンテロウイルス71（EV71）であり、その他CA6、CA9やCA10などのエンテロウイルスによっても発症する。手足口病の感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染であり、保育園や幼稚園などの乳幼児の集団生活施設における感染予防は手洗いの励行と排泄物の適正な処理が基本となる。手足口病の病原ウイルスに感染しても全員が典型的な症状を呈するものではなく、不顕性感染例も存在することから、発症して診断された者を隔離しても効果的な対策とはならないと考えるべきである。また、主要症状が回復した後も比較的長期間にわたって児の便などからウイルスが排泄されることがあるが、基本的には軽症疾患であることを踏まえ、回復した児に対して長期間の欠席を求めることは現実的ではない。

手足口病は例年4月頃から患者数が増加し始め、流行のピークは7月の中旬か下旬となり、8月に入ると減少していく、という経過を辿る。

感染症発生動向調査では、全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づいて手足口病をはじめとする各種小児科疾患の発生動向を分析している。手足口病の報告数は2011年第19週以降増加が続いており、第27週の定点当たり報告数は9.7（報告数30,506）と前週（定点当たり報告数7.2）よりも更に大きく増加し、1982年に同調査が開始されて以来最多の報告数となった。都道府県別では佐賀県（42.3）、福岡県（41.0）、熊本県（32.7）、愛媛県（31.0）、山口県（26.8）、兵庫県（24.7）、徳島県（21.8）、長崎県（18.8）、大分県（17.3）、福井県（16.2）の順となっており、39都道府県で前週の報告数よりも増加がみられている。手足口病の流行は西日本のほぼ全域と中部の一部地域で大きく、また首都圏や東北の一部でも大きな増加がみられている。2011年第1～27週の定点当たり累積報告数は30.4（累積報告数95,102）であり、年齢群別では0～1歳の報告割合が38.7%と例年と比べて高い割合となっている。

手足口病の原因ウイルスは、CA16とEV71が代表的であるが、2011年は現時点（2011年7月19日現在）での総検出報告数196件中、CA6が103件（52.6%）と患者から検出されたウイルスの半数以上を占めている。

臨床現場からの報告では、本年国内で流行している手足口病の臨床的特徴は、発症初期に高熱を発することが少なくなく、また昨年までみられていた典型的な発症例と比べて発疹が大きく、四肢末端に限局せずに広範囲に認められる症例が目立つといった情報が寄せられている。過去10年間の発生動向をみると、例年手足口病の流行は第28週または第29週にそのピークを迎えることが多く、本年も間もなくピークとなるものと推察される。手足口病の流行の推移については、今後も注意深く観察する必要がある。

◆手足口病患者から検出されているエンテロウイルス2011年

エンテロウイルス71型（EV71）は熊本県から第10週と第15週に各1件が報告されている。

A群コクサッキーウイルス（CA）16型は第3～27週に佐賀県15件、大分県9件、岩手県、大阪府、香川県、福岡県各3件、愛知県2件など43件の検出が報告されている。

その他のCAではCA6が第2～27週に高知県28件、兵庫県18件、和歌山県14件、大阪府10件、島根県7件、佐賀県6件、福岡県4件、山口県3件、滋賀県、京都府各2件など103件、CA10が第26週に千葉県で1件報告されている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(28週)	高知県(29週末累計) H23/1/3~H23/7/24
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ								3 (0.06)	211 (0.04)	12,335 (256.98)
小児科	咽頭結膜熱				2	6		8 (0.27)	8 (0.27)	2,618 (0.84)	187 (6.23)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	13	11	4	2	1	32 (1.07)	73 (2.43)	3,775 (1.21)	1,590 (53.00)
	感染性胃腸炎	10	8	19	5		1	43 (1.43)	65 (2.17)	10,221 (3.28)	6,121 (204.03)
	水痘	4	2	8		1		15 (0.50)	27 (0.90)	3,987 (1.28)	1,285 (42.83)
	手足口病	5	14	49	12	19	53	152 (5.07)	171 (5.70)	34,216 (10.97)	1,029 (34.30)
	伝染性紅斑		1	7			5	13 (0.43)	18 (0.60)	2,606 (0.84)	253 (8.43)
	突発性発疹		3	5	3	3	1	15 (0.50)	15 (0.50)	2,228 (0.71)	418 (13.93)
	百日咳									64 (0.02)	11 (0.37)
	ヘルパンギーナ	5	2	13	8	2	25	55 (1.83)	84 (2.80)	14,693 (4.71)	499 (16.63)
	流行性耳下腺炎			3			2	7 (0.23)	8 (0.27)	3,094 (0.99)	225 (7.50)
	RSウイルス感染症									521 (0.17)	557 (18.57)
眼科	急性出血性結膜炎									471 (0.70)	(0.00)
	流行性角結膜炎			2				2 (0.67)		558 (0.83)	30 (10.00)
基幹	細菌性髄膜炎									19 (0.04)	2 (0.29)
	無菌性髄膜炎								2 (0.29)	15 (0.03)	13 (1.86)
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.14)	2 (0.29)	315 (0.68)	58 (8.29)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									9 (0.02)	6 (0.86)
計 (小児科定点当たり人数)		25 (12.50)	43 (6.14)	118 (10.45)	34 (11.33)	35 (17.50)	88 (17.60)	343 (11.33)			
前週 (小児科定点当たり人数)		20 (10.00)	110 (15.71)	173 (15.34)	57 (18.73)	20 (10.00)	96 (19.20)		476 (15.70)	79,621	24,619 (662.81)

定点当たり

第29週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(28週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ								0.06	0.04
小児科	咽頭結膜熱				0.67	3.00		0.27	0.27	0.84
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.86	1.00	1.33	1.00	0.20	1.07	2.43	1.21
	感染性胃腸炎	5.00	1.14	1.73	1.67		0.20	1.43	2.17	3.28
	水痘	2.00	0.29	0.73		0.50		0.50	0.90	1.28
	手足口病	2.50	2.00	4.45	4.00	9.50	10.60	5.07	5.70	10.97
	伝染性紅斑		0.14	0.64			1.00	0.43	0.60	0.84
	突発性発疹		0.43	0.45	1.00	1.50	0.20	0.50	0.50	0.71
	百日咳									0.02
	ヘルパンギーナ	2.50	0.29	1.18	2.67	1.00	5.00	1.83	2.80	4.71
	流行性耳下腺炎			0.27		1.00	0.40	0.23	0.27	0.99
	RSウイルス感染症									0.17
眼科	急性出血性結膜炎									0.70
	流行性角結膜炎			2.00				0.67		0.83
基幹	細菌性髄膜炎									0.04
	無菌性髄膜炎								0.29	0.03
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.14	0.29	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.02
計 (小児科定点当たり人数)		12.50	6.14	10.45	11.33	17.50	17.60	11.33		
前週 (小児科定点当たり人数)		10.00	15.71	15.34	18.73	10.00	19.20		15.70	

